



特集 P 2

岡山国際交流センター
開設30年

令和7年度 P 3

一般財団法人岡山県国際交流協会
年間行事予定表

事業報告 P 4・5

災害救援専門ボランティア(通訳・
翻訳)研修会 ほか

外国人エッセイ 私の何でも自慢 P 6

ヒボリット・レアさん

Worldなんしん Now?~岡山人からの便り~ P 7

越宗 ゆう子さん

ボランティア活動しています! P 8

山田 英里さん一家(ホームステイ・
ホームビジット受入家庭ボランティア)

作ってみよう!世界のレシピ P 8

チキンアドボ(フィリピン)

JICA寄稿 P 9

形山 千明さん

イベントカレンダー P 10

おかやまSDGsフェア ほか

OKAYAMA INTERNATIONAL EXCHANGE

令和7年

2025.6

No.159

おかやま 国際交流

岡山国際交流センター開設
1995年~2025年

30th Anniversary



岡山国際交流センターは、平成7年6月にオープンし、今年で開設30周年を迎えました。

この間、多くの県民、関係者の皆様に支えられ、国際交流、国際理解、国際貢献、多文化共生など様々な国際分野における地域の活動拠点としての機能を果たしてまいりました。

今後とも、すべての人が暮らしやすい多文化共生社会の実現に向けて、様々な取組を進めてまいります。

岡山国際交流センター

開設30年

センター30年の歩み

1995年(平成7年)

- 6月 ● 岡山国際交流センターオープン
- オープン記念イベント「地球フォーラム」、
「世界の笑顔写真展」ほか開催
- 11月 ● 「外国人のための無料法律相談」開始

2000年(平成12年)

- 9月 ● 岡山国際交流センター5周年記念事業

2002年(平成14年)

- 2月 ● 協会ホームページ完成
- 3月 ● ボランティア登録制度「国際ボランティア
人材バンク」創設
- 9月 ● 「おかやま地球市民フェスタ」開始(～
2009年)

2006年(平成18年)

- 4月 ● 指定管理制度による運営開始

2010年(平成22年)

- OPIEFロゴマーク募
集・決定
- 「一日ブラジル総領
事館」開始(～2014年)



2013年(平成25年)

- 4月 ● 情報相談コーナーリニューアル

2014年(平成26年)

- 4月 ● スペースビュー導入
- 7月 ● 「岡山のCOOL発見!」開始(～2019年)
- 11月 ● 無線LAN、
Wi-Fiの全
館整備

岡山のCOOL発見!



2017年(平成29年)

- 4月 ● 災害時多言語支援
センター設置事業
開始
- 6月 ● サテライトシステム
整備



2019年(平成31年/令和元年)

- 4月 ● 岡山県外国人相談
センター開設



2020年(令和2年)～ 2021年(令和3年)

- 新型コロナウイルス
による長期休館

2021年(令和3年)

- 6月 ● 岡山県外国人相談センターで4者間通話
を開始

2022年(令和4年)

- 11月 ● ウクライナ語の通訳開始

2024年(令和6年)

- 4月 ● 地域日本語教育の総合的な体制づくり推
進事業開始
- 8月 ● ロビー展示開始



令和7年度 一般財団法人岡山県国際交流協会 年間行事予定表

月別事業

予定月	事業名	開催予定日
6月	親子で遊ぼう - Family Friendly Event -	6月22日(日)
8月	おかやまSDGsフェア出展 (岡山コンベンションセンター)	8月7日(木) ～8月8日(金)
	子ども日本語学習サポーター研修会	8月3日(日)
9月	英語で話そう ～Let's speak English～	9月6日(土)
	やさしい日本語研修会(岡山県内)	9月7日(日)
	外国人のための無料法律相談in津山	9月20日(土)
10月	国際貢献NGOフェア	10月1日(水) ～10月31日(金)
	岡山国際交流センター開設30周年記念講演会 (国際貢献・協力セミナー)	10月12日(日)
	ワールド・エクササイズ(岡山県総合グラウンド)	10月18日(土)
11月	海外マガジンリサイクル	11月8日(土) ～11月15日(土)
12月	日本文化体験・交流会	12月(予定)
	留学生と県民との交流会	12月13日(土)(予定)
R8年2月	ボランティア交流会	R8年2月(予定)
	地域共生サポーター養成講座・研修会	
	多文化共生コミュニケーションサポーター研修会	
	災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)研修会	

今年度行うその他の事業

予定月	事業名	開催予定日
毎月	英会話カフェ	毎月
未定	日本語ボランティアスキルアップ研修会	未定

※行事予定は変更となる場合があります。ご了承ください。

*都合により、日程等は変更する場合があります。最新情報は、下の二次元コードを読み取り、当協会のウェブサイトをご覧ください。

ホームページ



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram



災害救援専門ボランティア（通訳・翻訳）研修会・ 多文化共生コミュニケーションサポーター研修会 令和7年2月22日（土）

講師：金城学院大学文学部英語英米文化学科教授／法と言語学会会長／日本通訳翻訳学会評議員
水野 真木子氏

午前に災害救援専門ボランティア（通訳・翻訳）研修会、午後に多文化共生コミュニケーションサポーター研修会を開催しました。

災害救援専門ボランティア（通訳・翻訳）研修会

4か国35名の参加者が集まり、「災害時外国人支援に必要な通訳・翻訳スキル」の重要性について学びました。

まず、岡山県県民生活部国際課から「岡山県の在留外国人の状況と災害救援専門ボランティアに関する制度」の説明を行いました。

その後、水野氏の講義では、外国人が直面する壁や、災害時における通訳・翻訳の特徴・留意点、さらに通訳・翻訳が求められる分野や具体的な場面について学びました。

講義の後は、通訳・翻訳について得た知識を生かし、「地震の際の情報」「避難所での集団生活」「岡山県の災害情報」について、各グループで協力しながら翻訳実践訓練を行いました。参加者からは「様々な通訳・翻訳のスキル、特にサイトラ（Sight Translation[※]）が興味深かった」「通訳・翻訳では、なるべく簡単な単語を使う必要があると感じた」などの感想が寄せられました。

研修会の最後に、アルファ米（山菜おこわまたはチキンライス）、カンパン、水といった非常食を試食しながら、参加者同士で交流を深めました。

※サイトラ（Sight Translation）とは、与えられた原稿を見ながら、その場で内容を訳すことです。



講師の水野 真木子氏



ベトナム語の翻訳訓練の様子

多文化共生コミュニケーションサポーター研修会

学校や行政窓口等で通訳を担う、多文化共生コミュニケーションサポーターの研修に、29名が参加しました。

はじめに、コミュニティ通訳（地域で暮らす外国人と日本人の間で通訳をする人）の特徴や通訳者に必要な能力と資質についての講義がありました。次に、「役所などで手続きの通訳を行う際、相談者に対して、専門用語を分かりやすい表現に言い換えですか」など8つの事例を挙げ、それらの対応方法を学びました。

続いて、通訳スキルを向上させるため、シャドウイングやノートテイキングといったトレーニング方法を学び、実際に練習を行いました。

最後に3つの役（保育士・保護者・通訳者）を分担し、ロールプレイを行いました。「実際に通訳を行うと、思ったように言葉が出でず、もどかしい気持ちになったが、もっとスキルを向上させたいと思った」という参加者の声もありました。

参加者からは、「講師の説明はとても分かりやすく、実際に音声を使って練習ができて良かった」などの感想が寄せられました。



ロールプレイの様子



研修会「日本語教育の参照枠」

令和7年2月2日(日)

講師：学習院大学文学部日本語日本文学科教授 金田 智子氏

あまり聞きなれない方も多いかもしれません。「日本語教育の参照枠」とは、CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)を参考にした、日本語の習得段階に応じた日本語学習、教授、評価のための枠組みです。日本語教育に関わる人々が共通の指標を参照し、連携して日本語学習支援を行うことで、日本語教育全体の質の向上や多文化共生社会の実現につながることを目的としています。県内の日本語教室などで地域日本語教育に関わる方や興味のある方を対象とした本研修会では、専門家を講師に迎え、その基本的な考え方について学びました。終了後「印象に残ったのは、それぞれの学習者の『できないこと』ではなく『できること』に注目するということ。私の教室でも取り入れていきたい」など、対面28名、オンライン32名の参加者からは熱意のこもった感想が寄せられました。

※本研修会は文部科学省「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用し、「日本語学習サポーター初期研修」と「日本語ボランティアスキルアップ研修会」の合同企画として開催しました。



講師の金田氏



講師に聞きたいことがいっぱい!



県内各地からの参加

ボランティア交流会

令和7年2月8日(土)

ボランティア体験発表：八代 美子さん(ホームステイ・ホームビジット受入家庭ボランティア)
外国文化紹介：キム ユニさん(外国紹介/通訳・翻訳ボランティア)

ボランティア活動への新たな気づきの機会と、ボランティア同士のつながりをつくることを目的に開催し、外国人6名を含む34名が参加しました。

昨年度、当協会のホームステイ・ホームビジット受入家庭ボランティアに登録している12家庭が、マーシャル諸島共和国およびミクロネシア連邦の子どもたちを1泊2日で受け入れました。交流会では、ボランティアを代表して八代 美子さんが体験談を語りました。英語を話さない地域の子どもを受け入れたが、子ども同士はすぐに打ち解けたこと、チャットGPTを活用しながらコミュニケーションを取ったこと、本人の希望を聞きながら食事や行き先を決めたことなどが紹介されました。

また、韓国語講座の講師として人気のキム ユニさんが、韓国の伝統文化や最新の話題について紹介し、自分の名前を韓国語で表すアクティビティも行われました。

新たにボランティアを始めたいという意欲的な参加者も多く、交流タイムも盛り上がりました。

今後も多くの方のボランティア登録と活動へのご参加をお待ちしています。

韓国文化を紹介する
キム ユニさん

ホームステイ体験談を披露する八代 美子さん



なごやかな交流タイム

外国人エッセイ

私の何でも 自慢

ひ ぽ り っ と れ あ
ヒポリット・レアさん
(フランス北部 バランシエンヌ出身)
●職 業: 瀬戸内市役所 秘書
広報課 国際交流員
(CIR)
●日本滞在歴: 9か月



幼いころに、日本の文化に触れたことがきっかけで、日本語を学んだヒポリットさん。現在、国際交流員として瀬戸内市で活躍されています。

日本で働くことになったきっかけは？

私の出身地であるフランス北部のバランシエンヌは、日本の自動車メーカーの工場がある町で、幼少期から学校で日本人の子どもたちと一緒に学んだことが日本文化に触れるきっかけになりました。政治大学を卒業した後も、日本にさらに理解を深めるため、フランスの語学学校で日本語を専攻し、2017年からの一年間は、東京の法政大学へ留学しました。

2024年から岡山市出身で、フランスで活動した画家の故・赤木 晴児郎氏がパリに設立した団体で、同氏の作品や日本のアート全般の普及やプロモーションに関する仕事をしました。フランスと日本の交流の促進に積極的に関わりたいたいの思いから、JETプログラムの国際交流員に応募して、縁あって瀬戸内市に来ることになりました。これは運命だと感じています。

職人 鐸師(備前長船刀剣博物館の刀剣の里)



ヒポリット・レアさんの自慢は？

国際交流員の仕事の一つとして、備前長船刀剣博物館でフランス語のガイドツアーを担当することになりました。以前のアート関係の仕事では、現代アートの評論や雑誌の記事を書いたりしていました。もちろん、自分の趣味でもアート鑑賞が好きです。日本に来た時は刀についてはまったく知識がありませんでしたが、現代刀を美術品として説明するのは、ほかのアート作品を紹介するのと同じだと気づきました。そう考えると、刀の専門家ではない私でも、自分の経験を生かして、楽しく仕事ができるように感じられました。私は、芸術に対する好奇心が強く、いろんなことに興味を持つ性格です。そのおかげで、自分の力で様々な幅広い活動をしていることが自慢です。

200万回再生した動画もあります!ぜひ私の活動をSNSでフォローしてください。@visitsetouchi(Facebook/Instagram)

岡山のSAMURAIツアーの際の試し斬りデモンストレーション
神崎 勝さん ヒポリット・レアさん
瀬戸内市、備前長船



World なんしょん Now?

おかやまじん たよ
～岡山人からの便り～

今回はパートナーの出身地、スペイン
で仕事や子育てに全力投球されている
越宗ゆう子さんに岡山での思い出や
スペインでの生活について伺いました。



家族写真：娘のカソリック
教会堅信式にて

皆様こんにちは！赤磐市出身の越宗ゆう子と申します。
スペインはバダホス県近郊の人口約8500人の
トルデシージャス村に住んでいます。スペインには26年
前、サラマンカ市で語学留学をし、1年間過ごしました。
サラマンカ市にはスペインで最古のサラマンカ大学があ
り、語学学校も多く、世界中からスペイン語を学びにく
る生徒がたくさんでとても楽しい留学生活を送りました。
留学後は、学んだスペイン語を生かして、JICA（国際
協力機構）日系青年ボランティアとして、アルゼンチン
のブエノスアイレスで、2年間現地の日系人と一緒にお
仕事をさせていただきました。

その後、しばらくして、岡山県JICAボランティア推進
員としてJICAボランティアの仕事や活動を広報するた
め開発教育セミナーやワークショップ、ボランティア活動
の写真展開催など、岡山県内の市町村公的機関や、小
中高校と、東西南北様々なところへ出前授業や出張を
しました。多くの方と関わり合う事ができ、とても楽しく
学びの多い仕事でした。

現在住んでいる夫の出身地であるトルデシージャス村
へは、今から約13年前に引っ越しました。トルデシージャス
はその昔、コロンブスが新大陸を発見した後、新大陸の
スペイン領とポルトガル領を分割するためのトルデシー
ジャス条約を締結した地として知られています。条約
ミュージウム、サンタクララ修道院など、古い修道院や教
会も多く、世界から多くの方が訪れています。村は大き
なドウエロ川のほとりにあり、週末には、この河畔にある
林道をジョギングしたりします。



息子とジョギング中！



ドウエロ河畔からのトルデシージャス

引っ越し後、しばらくは翻
訳業務を家で行的ながら子
育てをしていました。その後、
家から車で5分ほどの地元
の冷凍食品会社の輸出部ス
タッフとして仕事を始め今年で勤務10年目となります。
当時は、2歳前だったスペイン生まれの息子が、もうすぐ
12歳となり、時の経つのは本当に早いものだと感じて
います。

スペイン人はお祭りやパーティーが好きで、とても明
るい国民性です。週末になると、家族や友人とベルムー
（食前酒）といって、昼食前にバルをはしごして、おつま
みとワインなどを食べながら、会話をします。また、
誕生日会もよく行います。こちらでは、誕生日を迎える
人が、家族や友人を招待します。カソリックの国でもあ
り、家族をとても大事にする人が多いと感じます。

スペインは、各地
方によって、言語、食
文化、気候も全く異
なるので、週末に国
内旅行をしても、海
外旅行をしているよ
うな気分になります。



キャンプで自然を満喫

子どもが小さい
時やコロナ禍では、家族でよく国内のキャンプ場に行
きました。設備が整っていて、プールやレストランもあ
るキャンプ場がたくさんあり、安くて楽しい旅行が可
能です。

イベリコ生ハム、チョリソーソーセージが有名な内陸
のトルデシージャスは、近くにベルデホ白ワインで有名
なルエダ村、ドウエロ川河畔に赤ワインのワイナリーがた
くさんあるので、特におすすめしたい地域です！

みなさんも機会があれば、ぜひスペインへ。





みなさん、マーシャル諸島共和国は知っていますか？私はホームステイを受け入れるまで知りませんでした。

ホームステイを受け入れようと思った理由は、自分の子どもに、世界には多くの国が存在し、様々な価値観を持つ人があるということを実感してもらいたかったからです。

1泊2日で11歳のアルバートさんを受け入れることが決まり、さっそく準備が始まりました。まず、マーシャル諸島共和国について子どもたちがいろいろ調べました。その中で、日本との繋がりが深いことが分かり、親近感を持ちました。実際、アルバートさんのお婆さんも日本人でした。

アルバートさんが来た時に、何をしようかいろいろ考えましたが、結局、彼が「ショッピングモールに行きたい！」と言ったので、モールに行き、ラーメンを食べて、その後にゲームセンターに行きました。マーシャル諸島共和国にはゲームセンターがないので、とても喜んでいました。夜は花火をしました。マーシャル諸島では手持ち花火をする習慣がないようで、彼は大はしゃぎしていました。

今回のホームステイで感じたことは、子どもが好きなことは日本もマーシャル諸島も同じで、言葉は通じなくてもお互いの心が通じ合うことができるということです。最終日のお別れは非常にさっぱりしたもので、それもいい思い出になりました。今後もいろいろな国からのホームステイのゲストを積極的に受け入れたいと思います。



アルバートさん(右から2人目)、人生初の路面電車に乗りました



花火をした後の自宅にて

アルバートさんが大好きなラーメンを食べました



作ってみよう！

世界のレシピ

シンプルなお袋の味とチキンアドボ Simple Chicken Adobo

フィリピンのお袋の味と呼ばれる家庭料理「チキンアドボ」を紹介

します。お酢を使った食べ応えのある煮物で、にんにく、ローリエ、粒胡椒が効いたフィリピン料理です♪記載の分量は目安です。ご家庭ごとのアレンジが入るママンのお料理です。パーティーにもGOOD、ぜひご自宅で作ってみてください。



マニラの街並み

材料 (2~3人分)

- 鶏肉約900gを一口大に切り分けます
- アボドマリネ液の材料

にんにく1株(潰したものを)

白酢……………大さじ6

醤油……………大さじ6

粒胡椒など……………小さじ1 1/2

乾燥ローリエ……………5枚

水……………1/2カップ

(お好みで黒糖少々、玉ねぎもおすすめ)

- 食用油

……大さじ4

- ジャガイモ4

個(一口大

に切る)



しっかり下味をつける

作り方

①マリネする: 鶏肉、にんにく(全量の1/4)、粒胡椒、乾燥ローリエ、醤油、酢、水をボウルに入れて混ぜ合わせ、約15分漬けます。

②鶏肉を焼く: きれいなフライパンに油を熱し、マリネした鶏肉を片面5分ずつ焼き、取り出します。

③ジャガイモを焼く: 同じフライパンでジャガイモを5分ほど焼き、取り出します。

④アボドマリネ液を煮込む: 別の鍋に液を戻して、蓋をして沸騰させます。かき混ぜ、すべての材料がしっかりと混ざっていることを確認して約10分間煮込みます。

⑤具材を戻す: フライパンに焼いた鶏肉とジャガイモを鍋に加え、半分になるまで煮詰めます。

⑥完成: お皿に移し、温かいご飯と一緒に召し上がってください。

★ローリエの葉を取り除き、器に盛ってご飯を添えて完成!

よい色に焼きました〜





JICA 寄稿



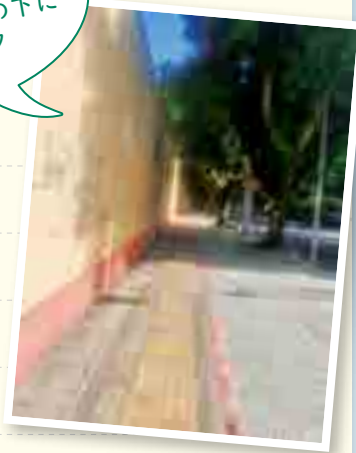
形山 千明さん

ベレンの動物園(エミリオゲオルジ)のマンゴー並木の下に
まっすぐ続く点字ブロック

私はJICA日系社会海外協力隊としてブラジルのパラ州ベレンにいます。ベレンはアマゾン川の河口の町です。アマゾン地域に日本人が移住して2029年で100年になります。移住者たちは、日本語で医療を受けられる病院「アマゾニア病院」、日本人高齢者施設「厚生ホーム」を造りました。私は病院と高齢者施設で活動しています。現在、病院内に日本語で対応する医師は少なくなり、施設の入所者は半数がブラジル人になりました。

岡山発祥の点字ブロックは世界各地にあります。しかし、秋篠宮文仁親王殿下と眞子さんがそれぞれ持参された備前焼が、ベレンの日伯文化会館にあるのを岡山県民で知っている人は少ないと思います。現在の日伯文化協会会長の祖父は岡山県出身です。ブラジル

全域に各県人会があります。日本からの移住が約20年早いサンパウロでは、毎年7月大規模な日本祭りが開催されます。3日間で約20万人が来場し、岡山県人会のコーナーではきび団子、祭り寿司が販売されます。



寄贈された干支の備前焼
(秋篠宮文仁親王殿下から酉、眞子さんから戌)

国際協力に関するご相談は岡山県JICAデスク(橋本)まで。

E-mail : jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp / 電話 : 080-2934-8497

Facebook : <https://www.facebook.com/jica.okayama>



R7年度の日本語教育について

令和6年度から始まった文部科学省の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」が2年目に入りました。その一環として、同年から始まった赤磐市の「あかいわにほんご教室」モデル事業もおかげさまで2年目を迎えることができました。9月からは第2のモデル地域として吉備中央町での地域日本語教室開設に向けた「やさしい日本語勉強会&交流会」「にほんご勉強会&交流会」「プレ教室」を予定しています。

さらにこれまでと同様に岡山県内の日本語教育に関わる方全員を対象とした「日本語学習サポーター初期研修」「日本語学習サポーターオンライン交流会」「子ども日本語学習サポーター研修会」「日本語ボランティアスキルアップ研修会」などの継続実施に向けて準備している段階です。

加えて今年度後半からは初の試みとなる岡山県全域の日本語学習者を対象にした「オンライン日本語講座」の試行を検討しています。引き続き令和7年度も岡山県内の日本語学習支援をさらに広げていきます。



8月

おかやまSDG'sフェア

「おかやまSDG'sフェア2025」に出展します。ぜひ遊びに来てください!

- と き 令和7年8月7日(木)～8月8日(金)
- と ころ 岡山コンベンションセンター
- 参加費 無料

子ども日本語学習サポーター研修会

外国にルーツを持つ小中学生への日本語学習支援に必要な知識と技術を学びます。研修修了者は本協会の「子ども日本語学習サポーター」に登録できます。

- と き 令和7年8月3日(日)
- 対 象 子ども日本語学習サポーター登録者及び新規登録希望者など
- 参加費 無料
- 申込み 企画情報課(7月中旬受付開始予定)

9月

英語で話そう～Let's Speak English～

様々な国の人と英語で楽しく交流しましょう!

- と き 令和7年9月6日(土) 予定
- 定 員 40名(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課(8月上旬受付開始予定)

外国人のための無料法律相談in津山

岡山国際交流センターで月2回開催している無料法律相談を、津山市で出張開催します。必要があれば通訳が同席します。

- と き 令和7年9月20日(土)
- 対 象 10:30～13:30(各1時間、3組)
県内在住外国人、日本語に不便を感じる帰国子女等(お問い合わせください)
- 参加費 無料
- 申込み 企画情報課

会報誌アンケートのお願い 今後の参考にさせていただくため、ご協力をお願いします。

「響きあう絵画 宮城県美術館コレクション カンディンスキー、高橋由一から具体まで」(県立美術館開催)ペアチケットを5名様にプレゼント!



令和7年7月1日(火)までにアンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名の方に、岡山県立美術館で開催される標記展覧会「(会期:令和7年7月4日(金)～8月24日(日))」のペアチケットをお送りします。発表は発送をもって代えさせていただきます。



▲アンケートフォーム

響きあう絵画 宮城県美術館コレクション カンディンスキー、高橋由一から具体まで

●会期 2025年7月4日(金)～8月24日(日)

1981年に開館した宮城県美術館は、日本の近現代美術、そして宮城と東北の美術、表現主義を中心とする海外の美術を軸に、現在7,400点を超える作品を所蔵しており、2023年より大規模改修工事のため長期休館中です。所蔵品の原点である高橋由一とヴァシリー・カンディンスキーをはじめ、明治から昭和戦前期までの日本の洋画家たち、グループ「具体」などの戦後美術をリードした画家たち、ドイツ表現主義の系譜をなす画家たちなど代表的な作品を紹介します。

ヴァシリー・カンディンスキー 《「E.R.キャンベルのための壁画No. 4」の習作(カーニバル・冬)》 1914 宮城県美術館

事務局長就任のお知らせ

令和7年6月1日付で、協会の事務局長に **木村 俊之** が就任しました。前任者同様、何卒よろしくお願いいたします。

会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員: 2,000円 団体会員: 10,000円
賛助会員: 30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00～17:30(月～土曜日)
E-mail: kokusai@opief.or.jp

最新情報は、当協会のホームページやFacebook、X(旧Twitter)等で随時お知らせします。



ホームページ



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram



問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会 企画情報課

☎086-256-2914 (月～土 9:00～17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月～土 9:00～17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905(9:00～17:30)

[休館日] 12月29日～1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1
岡山国際交流センター内 一般財団法人 岡山県国際交流協会
☎086-256-2000(月～土 9:00～17:30)
☎086-256-2226

ホームページ: <https://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

X(旧Twitter): https://twitter.com/opief_okayama

Instagram: https://www.instagram.com/opief_okayama/

E-mail: kokusai@opief.or.jp